

学士課程教育における現代社会で求められている 課題に対応する能力育成に関するアンケート調査（大学向け）実施要領

公益財団法人 大学基準協会

大学評価研究所

学士課程教育における現代社会で求められている
課題に対応する能力育成に関する調査研究部会

部会長 山田 礼子

1. アンケート調査の実施目的

21世紀型リベラルアーツ教育を構成する内容として、「データサイエンス」「STEAM」「文理融合」「DX」などの概念が注目されています。またこれら以外にも、従来の「一般教養」とは異なる要素が大学教育に求められているように思われます。これからの学士課程教育では、これらに関連する諸能力をどう育成するか、教育課程にどのように組み込むかが、大きな課題となりつつあります。このような状況を踏まえ、大学基準協会（以下「本協会」といいます。）の大学評価研究所は、各大学の学士課程における新しい能力育成への取り組み状況を調べるとともに、これらの能力育成に対する社会の期待や受け止め方を調査し、大学における特徴的な取り組み事例を探ったり、教育改善に向けた留意点等を明らかにしたりすることといたしました。本アンケート調査は、その一環として企画したものです。

2. アンケートの回答方法等

(1) ご協力いただくにあたって

設問は、具体的な事例等を尋ねるものを除き、学士課程に関する大学としてのお考えや取り組み、全学を包括的に見たときの状況を伺うものとなっております。このような趣旨から、学士課程における教育活動等の状況を全学的に把握されている方などにご回答いただきたいと考えます。

(2) 回答方法

選択式回答と記述式回答からなります。いずれも、所定の調査票を用いてください。

調査票はMS-Excel形式です。電子データとして回答を作成してください。調査票は、**本協会ウェブサイト（トップページ）の「News お知らせ」**にある本件の案内からダウンロードしてください。

(3) 提出期日・提出先

2022年6月3日（金）まで

kenkyu@juaa.or.jp 宛（メール添付）にお送りください。

(4) 連絡先情報提供のお願い

ご回答内容の確認等のために、本協会よりご連絡をさせていただく場合があります。調査票の所定箇所に、ご担当者様の連絡先をご記入ください。

3. 回答にあたっての留意事項

- ・ 学部数・学科数が多いなど数多くの事例を抱える場合、具体例を問う設問では代表的なもののみを回答してください（5つほどまで）。
- ・ 一部の語については、基本的な語義説明を付けております。参考までにご覧ください。

4. アンケートの取り扱い

アンケート調査を通じて貴大学より得る情報は、統計的処理によって匿名性が保たれるようにするとともに、本協会の責任のもとで厳正に取り扱います。

なお、今後実施することを予定している一部の大学への個別のインタビュー調査について、対象校を選定する基礎資料として本アンケート調査を活用いたします。

5. アンケート結果の報告及び公表

調査の結果は報告書や学会発表等のかたちで公表させていただきます。また、報告書はアンケート調査にご協力いただいた大学に送付いたします。

なお、ご提供いただいた資料を本協会が直接公表することはありません。本調査研究の報告書等において、紹介・言及する場合は、あらかじめ大学に対して確認を行います。

以上、年度初めにあたり諸事ご多端の折、まことに恐縮に存じますが、調査研究の趣旨をご理解のうえ、ご協力下さいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

学士課程教育における現代社会で求められている 課題に対応する能力育成に関する調査研究部会名簿

役職	氏名	所属等
部会長	山田礼子	同志社大学
調査研究員	石井洋二郎	中部大学
調査研究員	小林 浩	リクルート『カレッジマネジメント』
調査研究員	杉森公一	北陸大学
調査研究員	生和秀敏	元広島大学
調査研究員	堀井祐介	金沢大学

(お問い合わせ)

公益財団法人大学基準協会 評価研究部

(浅井)

〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 2-7-13

E-mail: kenkyu@juaa.or.jp